

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 一般財団法人倉敷成人病センター			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒710-8522 岡山県倉敷市白楽町250					
本票作成	部署名 : 施設管理課									
主たる業種	分類コード	83	業種名 : 医療業							
事業の概要	医療業									
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地					
	①	倉敷成人病センター			岡山県倉敷市白楽町250					
	②	ライフタウンまび			岡山県倉敷市真備町箭田1130					
	③	倉敷成人病健診センター			岡山県倉敷市白楽町282					
	④	KMCすまいる保育園			岡山県倉敷市白楽町292-3					
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)									

計画期間	令和 7 年度			～			令和 11 年度			(5 箇年度)									
削減目標	いざれか を選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率		目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満								
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準		4.0	%						○								
温室効果ガス 排出量	基準年度 (令和 6 年度)					目標年度 (令和 11 年度)													
	5,621 t CO ₂					5,397 t CO ₂													
基準年度の 主な工場等 の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (令和 6 年度) の排出量														
	①	倉敷成人病センター			5,303 t CO ₂														
	②	ライフタウンまび			40 t CO ₂														
	③	倉敷成人病健診センター			263 t CO ₂														
	④	KMCすまいる保育園			15 t CO ₂														
					t CO ₂														
					t CO ₂														

※ 「計画期間」欄には、 5 箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の 削減目標を選択 した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 延べ床面積	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		263.161 kg CO ₂ / (m ²)	254.009 kg CO ₂ / (m ²)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク 指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 6 年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

延べ床面積を母数に排出量原単位を設定し、目標年度である令和11年度において、温室効果ガスを5.0%（原単位ベース）削減する目標を掲げる。①40,604m² ②6,057m² ③2,816m² ④460.7m²

【目標削減率達成のための推進体制】

エコ委員会（委員長、副委員長、事務局、各部署代表者1名）を構成。2ヵ月／1回の委員会活動で、水光熱費の削減、廃棄物排出量の削減、リサイクル活動等の議題で目標設定を行い全体で運用。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
①倉敷成人病センター ③成人病健診センター	①センター棟EHP空調機19系統更新 ①クリニック棟氷蓄熱空調機2系統更新 ①③照明器具LED化 ③ファンコイルユニット16台更新 ①吸収式冷温水発生機2台更新

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
①倉敷成人病センター ③成人病健診センター	・センター棟照明器具LED化工事 ・クリニック棟照明器具LED化工事 ・リハビリ棟照明器具LED化工事 ・センター棟EHP系統空調機更新 ・センター棟GHP系統空調機更新 ・クリニック棟EHP系統空調機更新 ・センター棟温水ヒーター 給湯器へ更新 ・健診センター温水ヒーター 給湯器へ更新

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無
その他	無

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無
その他	無

【その他特記事項】

①において、2025年度8月から新棟の未使用部分に新しい診療科を開設するため、2024年度よりエネルギー使用量増加の想定。②2023年3月末をもって事業撤退。24年度のエネルギー使用は維持管理のみに使用。これ以上の削減はない見込み。